# 浪江東中学校

双葉郡浪江町大字幾世橋字来福寺西 73

## 教育、文化、スポーツ各面で県下に誇れる学校

浪江東中学校は、旧幾世橋中、旧請戸中の２つの中学校が統合され、1974（昭和49）年に開校しました。1976（昭和51）年には新校舎への移転が完了し、1999（平成11）年の校名変更を経て、震災までの40年近くの歴史の中で幾多の先生に教えを受け、地域の人々に見守られる中で育まれ、多くの卒業生が巣立っていきました。その歴史は栄光の歴史でもありました。教育、文化、スポーツ面の活動、いずれも素晴らしい成果を残してきました。文化面では音楽コンクール等の全国出場など、スポーツは県、東北大会の優勝など、各部の生徒のめざましい活躍がありました。浪江東中学校は、勉学も部活全般においても県下に誇れる校風が確立されていました。

### 校　歌

作詞／長浜 久雄　作曲／天野 秀延

1．来福寺野の　さわやかに
若人われら　今日にあり
礼知ゆたかに　誇りあり
生をまさしく　拓きつつ
花と匂わん　東中

2．阿武隈の嶺の　晴やかに
若人われら　明日にあり
信義さやかに　美わしさ
日々をまさしく　育てつつ
空と映えなん　東中

3．太平洋の　かがやかに
若人われら　共にあり
愛のかたみに　さきくある
世々をまさしく　起しつつ
虹と薫らん　東中

## 沿革

| | |
|---|---|
| 昭和49年 4月 | 浪江町立東中学校設立、幾世橋中学校、請戸中学校を廃し、幾世橋分室、請戸分室とする |
| 50年 3月 | 校章・校旗・校歌制定 |
| 50年 6月 | 第一期校舎建築 |
| 51年 3月 | 第二期校舎建築 |
| 51年 4月 | 実質統合、新校舎移転完了 |
| 52年 2月 | 体育館完成 |
| 52年 3月 | 第1回・第2回卒業生による記念として正門門柱建立 |
| 52年 4月 | PTA奉仕による樹木移転完了 |
| 53年 | プール・テニスコート・運動場完成 |
| | 芝生完成、フェンス完成（校庭南・東側）、校舎完成感謝の会開催 |
| 55年 | 勤労体験学習研究会指定校（～56年度） |
| 56年11月 | 勤労体験学習研究会発表会 |
| 58年11月 | 東北地区中学校技術家庭科研究大会（木工、保育分科会会場） |
| 61年 | 青少年健全育成推進指定校（～62年度） |
| 62年 | 県学校環境緑化コンクール参加（理事長賞受賞） |
| 63年 | 創立15周年記念式典挙行 |
| 平成元年 8月 | 台風13号による被害 |
| 5年 | 中体連ソフトボール部全国大会出場 |
| | 創立20周年記念式典挙行 |
| 8年 4月 | 「浪江町公立学校就学指定に関する規則」の改正により、大字権現堂（4区、8区および佐屋前行政区除く）、大字牛渡、大字高瀬、大字西台、大字藤橋（字出口を除く）の学区を加えて変更（ただし、平成8年度入学から適用） |
| 9年 | 平成9～11年度文部省中学校進路指導総合改善事業実施校指定 |
| 10年 | 平成10・11年度財団法人日本進路指導協会研究委託校指定 |
| 11年 4月 | 「浪江町立小学校及び中学校条例」の改正により、校名を「浪江町立浪江東中学校」と改称 |
| | 校歌を吹奏楽曲に編曲（編曲者：東京芸大教授 成田欽家氏） |
| 平成11年10月 | 「平成9～11年度文部省中学校進路指導総合改善事業実施校」の研究発表会実施 |
| 11年11月 | 創立25周年・新校名制定記念式典開催 |
| 12年 | 東北中体連大会ソフトボール部第3位 |
| 13年 | マーチング・フェスティバル全国大会銀賞 |
| | 第29回マーチング・バトントワリング全国大会銀賞 |
| 14年 | マーチング・フェスティバル全国大会銅賞 |
| | 第30回マーチング・バトントワリング全国大会銅賞 |
| 15年 | マーチング・フェスティバル全国大会銀賞 |
| | 第13回男子インドアソフトテニス福島県大会優勝 |
| 16年 | 第47回男子ソフトテニス福島県大会優勝（個人全国大会出場） |
| | 第32回マーチング・バトントワリング全国大会出場 |
| | 第24回全国中学生人権作文法務省人権擁護局長賞 |
| 17年 | 第18回全日本マーチングコンテスト東北大会パレードコンテスト金賞 |
| 18年 | 耐震補強およびユニバーサルデザイン工事の大規模改修工事 |
| | 第19回全日本マーチングコンテスト パレードコンテスト銅賞 |
| 19年 | 中体連ソフトテニス福島県大会準優勝（東北大会出場） |
| | 中体連ソフトボール女子新人戦福島県大会優勝 |
| | 第20回全日本マーチングコンテスト東北大会銅賞 |
| 20年 | 東北中学生女子選抜ソフトボール大会出場 |
| | 第21回全日本マーチングコンテスト東北大会金賞 |
| 21年 | バリアフリー工事 |
| | 中体連ソフトボール女子新人戦福島県大会準優勝 |
| 22年 9月 | 第28回福島県マーチング・フェスティバル金賞（東北大会出場） |
| 22年10月 | 全日本マーチングコンテスト第23回東北大会金賞 |
| | 体育館耐震工事完了 |
| 23年 3月 | 東日本大震災および原発事故のため臨時休業 |
| 31年 3月 | 休校 |
| 令和 3年 3月 | 閉校 |

「ふるさと追想」
浪江のこころ通信
平成28年広報なみえ
10月号より抜粋

### 浪江の友達も浪江町も、ずっと大切にしたい

山田 拓樹さん（大学生）

震災当日は中学校の卒業式でした。避難先は転々と変わり、大学入学を機に一人暮らしを始めました。公務員を目指し、浪江町役場をインターン先に選びました。浪江でのいちばんの思い出は、中学時代の3年間ですね。学校生活や友だちとの思い出がたくさんあります。十日市祭はとても楽しみでした。高校入学までの友達とのやりとりの中で、東中の卒業生が多数、福島西高校に入学すると聞いて、自分も入学しました。中学の時やっていたテニス部に入り、新しい友だちもできました。今は浪江の友だちとはなかなか会えないですが、これからも大切にしていきたいです。離れて住んでいても浪江町は故郷です。その思いは変わりません。

## 震災前の学校の風景

卒業メッセージ

東風祭

生徒会活動

マーチング

校舎正門（2006 年）

合唱コンクール

## 震災直後の記録とその後

2011（平成23）年3月11日、地震による津波と原発事故は甚大な被害をもたらしました。海岸一帯を襲った津波は学校の200m ～ 300m手前まで達しました。学校までおよぶことはありませんでしたが、多くの住民と午前中に卒業式を終え帰宅していた生徒2人が犠牲となりました。翌日、原発事故により全町避難指示が出されたため、生徒の安否確認は3月31日までかかりました。そして4月1日には二本松市（旧木幡二小）に、臨時休業措置がとられた本校の全職員が集まり、浪江東中に通うはずだった生徒183人の就学先や避難先の住所確認を行いました。

2019（平成31）年3月をもって浪江東中は休校となりましたが、通っていた生徒たちは伝統を確かに引き継ぎ、発展させ、志をつないできました。これらの伝統・実績とともにその志はここ来福寺の地で、未来の浪江を想う学校へと託されていきます。

卒業式（2011年）

卒業式（2011年）

教室

卒業式の祝電

## 浪江町立小・中学校合同休校式

2019（平成31）年4月8日

浪江町立小・中学校合同休校式が、なみえ創成小・中学校体育館において行われました。休校となったのは、幾世橋小学校、請戸小学校、大堀小学校、苅野小学校の小学校4校と、浪江中学校、浪江東中学校、津島中学校の中学校3校です。出席した関係者は各校での思い出を語るとともに、歴史や伝統を次世代に引き継いでいく誓いを新たにしていました。町教育委員会では、休校となった小・中学校の歴史やデータなどをホームページを利用して順次公開していく予定です。